

診療科目

循環器内科

専門医研修指導医

責任者：砂川賢二 教授
 実務者：肥後太基 診療講師
 井手友美 講師、的場哲哉 講師、向井靖 講師
 井上修二郎 助教、日浅謙一 助教
 大井啓司 助教、大谷規彰 助教
 25年度 後期専門医研修医 62名



取得可能な認定医・専門医

全員が取得できるもの：日本内科学会認定内科医、日本循環器学会認定循環器専門医
 希望者が取得できるもの：日本内科学会認定内科専門医、
 日本心血管インターベンション治療学会認定医・専門医

専門医研修システム

4コースを開設しており、各コース4～8年間の研修です。

◆ 循環器内科専門医・大学重点コース(4～8年)

循環器内科領域の基礎的研修後、九州大学病院における先進医療や心移植適応症例を含めた重症例に対する高度循環器医療を重視した研修を行う。日本内科学会認定内科医、日本循環器学会認定循環器専門医を取得し、さらに専門分野の研修を行う。

◆ 循環器内科専門医・大学院進学コース(4～8年)

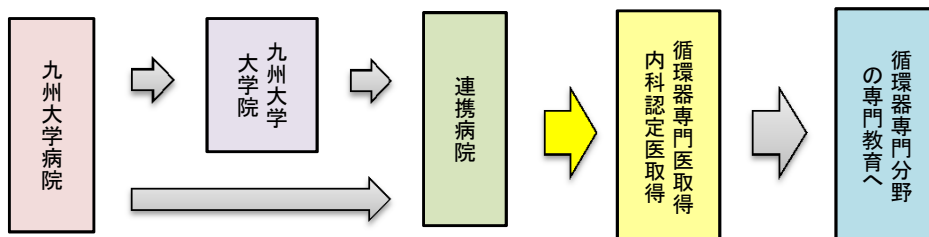
循環器内科領域の基礎的研修後、九州大学大学院医学研究院博士課程に進学し、循環器領域の基礎および臨床研究を行い医学博士号の学位取得を目指す。大学院卒業後、多くの地域の基幹病院と連携し、総合的な循環器内科医療の研修を行う。

◆ 循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース(4～8年)

循環器内科領域の基礎から救急、高度医療の研修を幅広く行う。さらに日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)認定研修施設において研修を行い、CVIT認定医の取得を目指す。

◆ 循環器内科専門医・地域医療重点コース(4～8年)

循環器内科領域の基礎から救急、高度医療の研修を幅広く行う。また、多くの地域の基幹病院での研修を通して、地域医療に貢献するとともに、総合的な循環器内科医療を習得する。



※ 連携病院

福岡赤十字病院、済生会福岡総合病院、済生会二日市病院、JCHO九州病院、九州医療センター・浜の町病院、原三信病院、北九州医療センター、佐賀県医療センター好生館、麻生飯塚病院、聖マリア病院、大分県立病院、松山赤十字病院、福岡山王病院

診療科の活動 / PR

循環器内科においては循環器領域の最先端の高度な医療に触れ、習得することができるのみならず、他科や多職種との強固な連携のもと、広い知識と視野を持った、バランスのとれた高度な医療人を育成することが可能である。

循環器内科は心臓血管外科や小児科・内科といった他の診療科の循環器部門とともに九州大学病院ハートセンターという一つの診療ユニットを形成し、同じ病棟内で常に協力体制をとりながら診療を行っている。救急部や心臓血管外科との間において人的交流も行っており、また放射線科や病理部門とも定期的なカンファレンスを開催するなど、広い知識と視野をもった循環器専門医を育成することを重視している。

診療内容については、虚血性心疾患、心不全、不整脈、大動脈疾患といったそれぞれの分野で高度な先進的医療を実践しており、習得することが可能となっている。また今後症例の増加が予想される成人先天性心疾患症例についても専門的な管理を行える体制が整えられている。

虚血性心疾患の診断・治療にあたって血管内エコー（IVUS）、OCT、Pressure wire、Flow wireなどを用いながら通常のPOBA、ステント治療はもちろんのこと、ロータブレードやエキシマレーザーによる治療も行っている。また侵襲的な検査のみならず放射線科との協力のもと、CTやMRI、各種シンチグラフィ・FDG-PETなどまでも用いることで、より正確な診断・治療を心がけている。不整脈の診断・治療においては最新のマッピングシステムであるCARTOシステムやEnsiteシステムを駆使して多くの難治性不整脈の治療が可能となっている。



心不全の診断・治療においては前述の各種画像診断に加えて積極的に心筋生検も行うことで特殊な心筋症に対しても適切な治療法の選択を行っている。また日本においては数少ない心臓移植認定施設の一つであるとともに、体外式はもちろんのこと、植え込み型補助人工心臓の認定施設でもあり、九州各地から重症心不全症例の相談や転院・治療にあたっている。これらの各疾患群の診療にあたっては、疾患別カンファレンスにおいてそれぞれの分野の経験豊富な複数の専門医の活発な討論や指導のもとで症例の診断・治療方針が決定されており、診断・治療方針の決定のプロセスについて間近で体験しその考えを習得していくことが可能である。

循環器内科は同時に多職種との協力関係を重視したチーム医療・全人的医療も実践している。心臓リハビリテーションはその一例であり、医師・看護師・理学療法士・管理栄養士・臨床検査技師らが協力して患者にかかわることで、患者の生命予後の改善のみならず、疾患の再発予防、生活の質（QOL）の改善、さらには心理状態の改善までも目指す総合的な医療を実践している。最先端の高度な医療に触れると同時に、このような全人的な医療にも触れ、実践し、それを習得していくことができる。



このように、非常に高度でなおかつ幅の広い循環器内科診療に触れ、それを習得していくにまさに適した診療科であり、まさに将来の地域社会・日本の医療界をリードしていくに十分な知識とスキル、そして人間性を兼ね備えた高度な医療人を育成することが可能な診療科である。

連絡先

電話： 092-642-5357 F A X： 092-642-5374

E-mail：junkanki@med.kyushu-u.ac.jp

担当者： 医局長 肥後 太基

診療科HP：<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/cardiol> <http://www.facebook.com/KyushuCardiol>